

はたらいて、
笑おう。

P
PERSOL

株主・投資家の皆様へ

株主通信

2018年3月期通期のご報告

2017年4月1日～2018年3月31日

パーソルホールディングス
(証券コード：2181)

株式に関するお手続きについて

証券会社などの口座に記録された株式

■お手続き、ご照会などの内容

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ

■お問合せ先

株主名簿
管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

- 住所・氏名変更などの上記以外のお手続き、ご照会

口座を開設されている証券会社などにお問合せください。

特別口座に記録された株式

■お手続き、ご照会などの内容

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 住所・氏名などのご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定(*)

■お問合せ先

特別口座
口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問合せ

株主名簿
管理人

[手続き書類のご請求方法]

○インターネットによるダウンロード ▶ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。



2014年8月:JPX日経インデックス400の構成銘柄へ選定されました。

JPX日経400とは?

日本企業の魅力を内外にアピールすることなどを目的に、資本の効率的活用や投資家を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした会社で構成される新しい株価指数です。

P パーソルホールディングス
PERSOL

東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインズタワー TEL 03-3375-2220(代表)

※本報告書に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があり、その確実性を保証するものではありません。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022784



この印刷物は「FSC® 認証紙」と「植物油インキ」を使用しています。



人と組織の成長創造インフラへ

PROFILE
代表取締役社長 CEO
水田 正道

1988年テンプスタッフ(現パーソルテンプスタッフ)入社。
1995年取締役営業本部長、2006年常務取締役東日本営業本部長、
2010年取締役副社長、2012年代表取締役副社長に就任。一貫して営業部門を担当。
2013年代表取締役社長就任。日本人材派遣協会会長、人材サービス産業協議会理事長を歴任。
座右の銘は積小為大。

当期の概況

穏やかな景気回復が続く中、有効求人倍率が4年ぶりの高水準を記録するなど、雇用情勢は改善を続けています。企業の人材需要は総じて堅調に推移しており、当社グループは積極的に事業を推進しています。新ブランド「PERSONAL(パーソル)」認知拡大へ向けた投資を引き続き行いましたが、当期の売上高は過去最高となる7,221億円、営業利益は360億円となりました。一方でPERSONAL KEELYセグメントの一部連結子会社、リクルーティングセグメントの広告事業では、様々な要因から買収当初に見込んだ計画どおりに収益確保が進ま

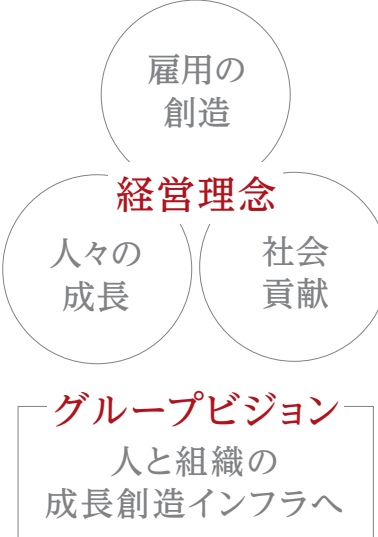
働くよるびをすべての人に

当社は株主の皆様からのご賛同を頂き、2017年7月1日より「パーソルホールディングス(株)」として新たなスタートを切りました。将来にわたり労働人口の減少が続く時代です。その中で雇用を活性化していくためには、あらゆる世代やライフスタイルの人々に、能力にふさわしく希望に添った就業機会を提供することが求められています。シニア世代の方が豊富な経験と知見を発揮できる仕事、育児などで制約のある生活にもフィットする仕事。有期/無期、フルタイム/パートタイムなどの雇用形態の垣根をなくし、またテレワークの積極活用などを通じて《多様性ある働き方の実現》に取り組むことで、たくさんの活躍のチャンスを生み出していきます。働き方の選択肢が増えると、働きたい人と最適な仕事を正確に結びマッチングの重要性も増していきます。情報過多の時代です。求める情報を的確に

選別し、高精度なマッチングを可能にするウェブ機能の強化や、モバイルファーストの視点も重要になっていきます。さらにはHRテックなどの新たなテクノロジーの活用注力することで、当社は《ミスマッチの極小化》を追求していきます。この《多様性ある働き方の実現》と《ミスマッチの極小化》には、グループ総合力の発揮が必須と考えます。さらなるグループシナジー創出に向け主要事業会社の社名に「パーソル」を冠することでブランド認知を強化し、労働・雇用に関わるあらゆる課題の解決に取り組んでいきます。

アジア・パシフィック地域の「成長創造インフラ」を目指して

当社は、アジア・パシフィック地域(以下APAC)における事業を新たな収益の柱の一つとすべく推進しています。その一環として2017年10月、豪州の大手人材サービス・メンテナンス会社であるプログラムド社*を連結子会社化しました。これを機にAPAC地域におけるプレゼンスをいっそう高め、この地域のボーダレスな人材交流の促進に寄与していきたいと考えます。グループビジョン「人と組織の成長創造インフラへ」のもと、グローバルな規模で人々の成長を支援していきます。

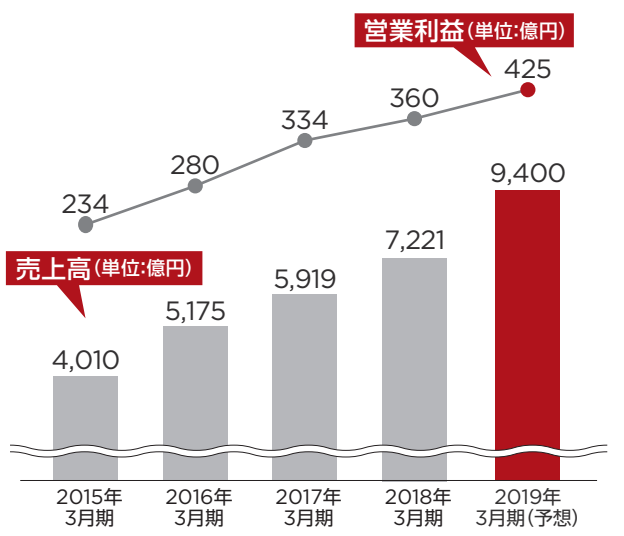


* : Programmed Maintenance Services Limited

業績ハイライト 《2018年3月期 連結業績》

売上高・営業利益とも 過去最高実績を更新

売上高 7,221億円 前年比 22.0%増	営業利益 360億円 前年比 8.0%増
親会社株主に帰属する 当期純利益 77億円 前年比 56.4%減	1株当たり 期末配当金 10円



進む「パール」体制

ブランド展開

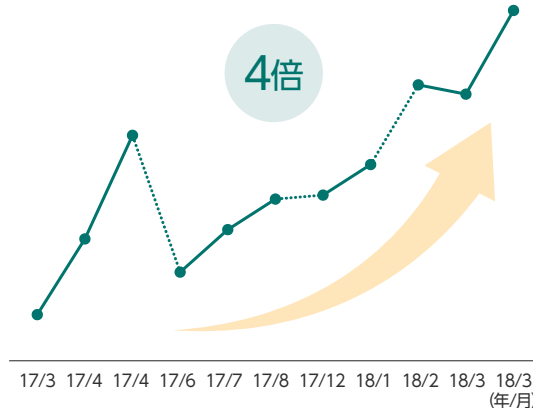
ブランド展開

TV-CMや交通広告などを展開



グループ認知度

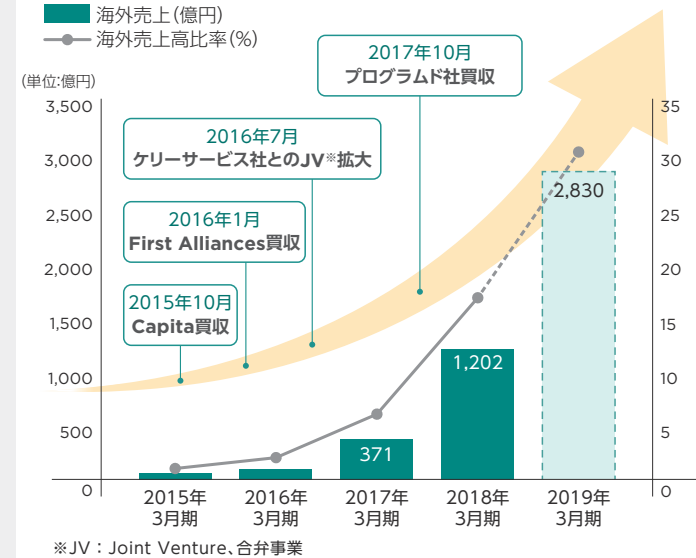
グループ認知度はプロモーション開始時と比較し約4倍にまで拡大。



※折れ線グラフの実線はプロモーション期間中、破線はプロモーション期間外
※引用元：NRIインサイトシグナル調査（関東エリアのPERSOLブランドロゴ認知指標）

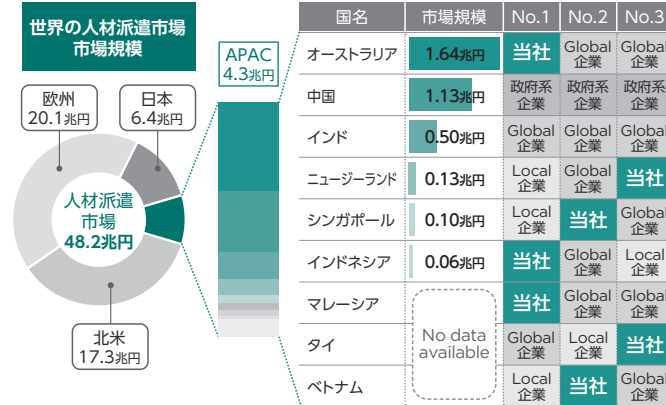
海外における事業展開

海外売上高推移



アジア・パシフィック地域におけるプレゼンス向上

主要国については既に各市場でTOP3のポジションを獲得済み。



【資料出所】各種資料より弊社作成。円価額は2017年9月末の為替レートで換算した額を記載

海外における事業展開

パールグループは、グループビジョンである「人と組織の成長創造インフラ」の実現に向け、日本国内のみならず、海外への展開としてAPACにおける事業拡大を重点施策の一つとして推進しています。ケリーサービス社との合併事業の拡大やAPAC地域各国の有力な人材企業の買収を通じて、事業基盤を強化してまいりました。こうした中、2017年10月に豪州を中心に人材サービス事業及びメンテナン事業を行うプログラムド社[※]の株式100%を取得。豪州はAPAC地域の人材派遣市場の中でも日本に次ぐ大きなマーケットであり、その大手企業であるプログラムド社のグループ入りにより、当社グループの海外展開は一層進みました。今後は国内事業の堅調な成長に加え、海外事業を手掛ける二つのセグメントについては、今後のグループを支える事業としての成長を目指し、それぞれのステータスに合わせた投資と体制整備を進めてまいります。

※：Programmed Maintenance Services Limited

「はたらいて、笑おう。」をブランドスローガンに掲げるパーソルグループは 働くすべての人々を様々な形で応援してまいります。

新番組『ゲンバビト』の一社提供を 2018年4月より開始

様々な業界の“ゲンバ”の最前線で、日々懸命に働く“名も無きゲンバビト”を紹介するTV番組の提供を開始しました。

仕事のノウハウ・技・想いなどを密着ロケで取材し、臨場感あふれる映像で伝えます。番組間CMでは「テンプスタッフ」「DODA」「an」などのサービスCMも放映します。

翌月曜から働くすべての人々の活力になる番組を目指します。
(CBC製作TBS系全国28局ネットにて、毎週日曜 23時30分～)



ゲンバビト収録スタジオ

プロ野球パシフィック・リーグ オフィシャルスポンサーに決定

パーソルグループは、2018年度パシフィック・リーグオフィシャルスポンサーに就任しました。6球団(北海道日本ハムファイターズ、東北楽天ゴールデンイーグルス、埼玉西武ライオンズ、千葉ロッテマリーンズ、オリックス・バファローズ、福岡ソフトバンクホークス)の冠協賛試合およびクライマックスシリーズパの冠協賛「2018 パーソル クライマックスシリーズ パ」の開催、「パーソルパ・リーグTV」と題したパ・リーグ公式ライブ動画配信サービスの放映など、多くの野球ファンの方々に向けてグループの認知拡大・好意醸成を目指します。

PACIFIC LEAGUE OFFICIAL SPONSOR



中期経営計画の進捗

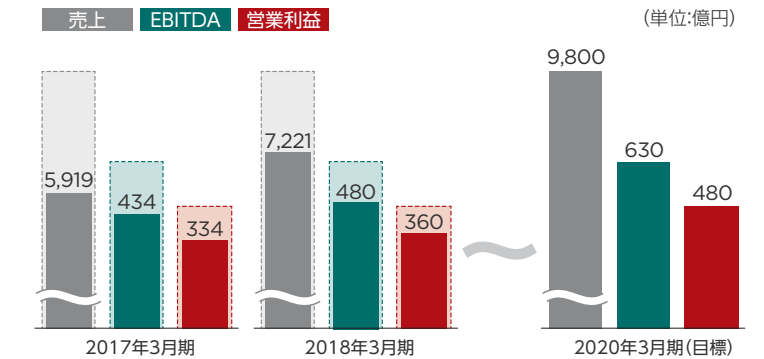
中期経営計画の戦略概要

下記5点を中期経営計画の戦略の柱に据える

- 戦略1 グループ認知度の向上
- 戦略2 更なる事業成長へ向けたシステム投資や生産性向上
- 戦略3 グループシナジーの創出及びグループ経営の推進
- 戦略4 アジア・パシフィック地域におけるプレゼンス向上
- 戦略5 M&Aによる積極的な事業基盤強化及びサービス領域の拡大

業績目標数値

中期経営計画数値目標の達成に向け、継続的的事业拡大を図る



前提条件

- GDP成長率 穏やかな成長(+0.0~1.0%程度)
- 有効求人倍率 経済成長・構造的要因で需要持続(1.0~1.2倍程度)

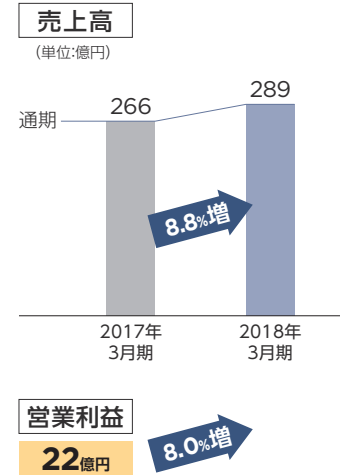
中期経営計画の進捗

パーソルグループの使命は、時代とともに変化する経済状況や社会の要請に対し、柔軟に適応する労働市場を形成し、新しい雇用のあり方や働き方の実現に向けた真摯な取り組みを通じて社会に貢献することです。

その使命を果たしていくためのロードマップとして、2020年3月期に向けた中期経営計画を策定。5つの戦略のもと、2020年3月期における数値目標、売上高7,500億円、EBITDA600億円、営業利益450億円の達成を目指してまいりました。昨年のプログラム社のグループ入りを受けて、売上高は大きく増加することから、この度中期経営計画の目標数値の見直しを行い、売上高9,800億円、EBITDA630億円、営業利益480億円に上方修正しました。引き続き既存事業への積極投資を進め、更なるグループシナジーの創出を目指すとともに、統合プロセスを推進し、海外事業に注力していくことで、一層の企業価値向上に努めてまいります。

ITO セグメント

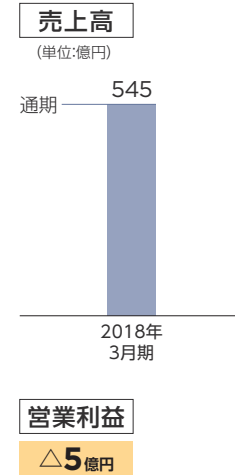
顧客企業におけるシステム関連投資やSI関連サービスに対する引き合いは高水準で推移し、また当社グループにおける社内システムの開発等により売上高は289億円となりました。利益面においては、退職抑制並びに新規採用に向けた技術者の待遇改善、本社オフィス増床・環境改善等の費用増加がありました。売上高の増加が大きく、営業利益22億円となりました。



PROGRAMMED セグメント

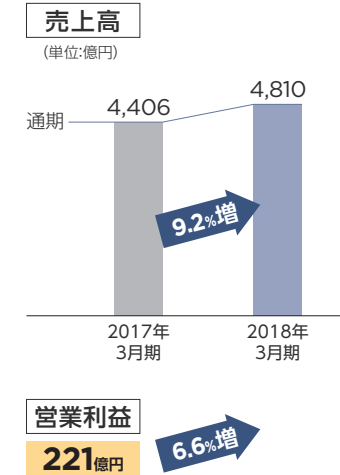
豪州において総合人材サービス及びメンテナンス事業を展開するProgrammed Maintenance Services Limited社を2017年10月に取得したことに伴い、第4四半期より業績を含めております。売上高はメンテナンス事業を中心に底堅く推移いたしました。利益面においては、同社の株式取得等に付随する株式取得関連費用の発生に伴い営業損失は5億円となりました。

※当セグメントは、Programmed Maintenance Services Limited社を取得したことにより新設したため、前年との比較・分析はありません。



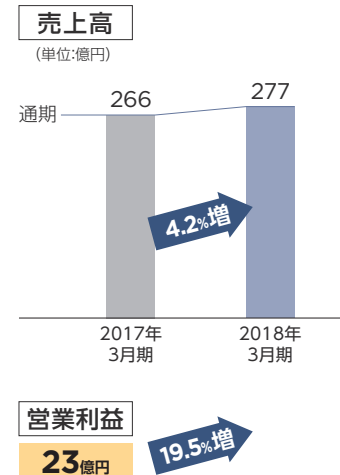
派遣・BPO セグメント

前年度に引き続き雇用関連指標が高水準で推移したこと、また構造的な人手不足から需要は高水準で推移いたしました。需要に対応すべく様々な形で供給施策等を講じたことが奏功し、売上高は伸長し4,810億円となりました。利益面においては、業容拡大に伴う人件費の増加、今後の成長に向けた基幹システムの刷新等のシステム投資等の費用増がありましたが、売上高の増加が大きく、営業利益は221億円となりました。



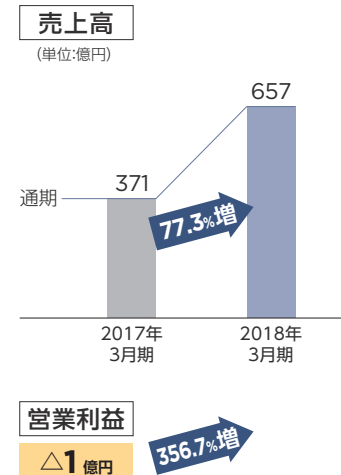
エンジニアリング セグメント

電機、自動車業界等を中心に引き続き人材需要は強く、売上高は堅調に推移し277億円となりました。利益面においては、既存技術者の稼働率が高水準で推移したこと等の結果、営業利益23億円となりました。



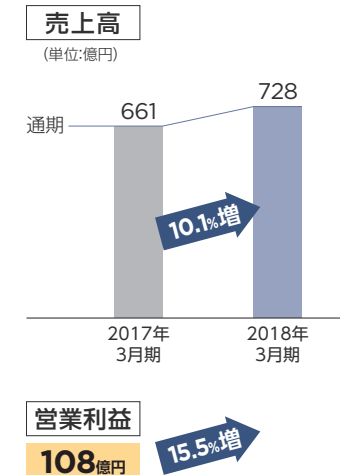
PERSOLKELLY セグメント

当セグメントは、第1四半期において「海外」として新設したセグメントであり、更に第3四半期にPROGRAMMEDセグメントを新設したことに伴い、「PERSOLKELLY」へ名称を変更いたしました。合併事業の範囲拡大に伴う業容拡大効果に加え、事業を行うアジア・パシフィック地域の堅調な需要に支えられ、売上高は657億円となりました。利益面では中期的な事業成長を見据え、地域統括機能の整備及び営業体制の増強を図った結果、営業損失は1億円となりました。



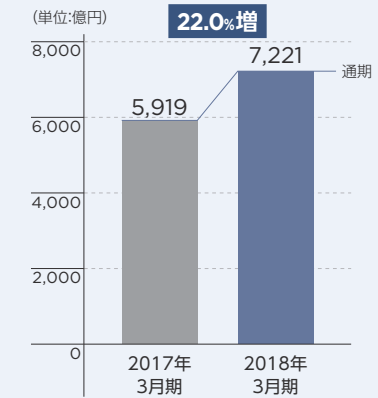
リクルーティング セグメント

人材紹介事業を中心とした旺盛な需要に対し、人員増強を図り体制を強化した結果、売上高は728億円と大幅に伸長いたしました。利益面では業容拡大に伴う人件費・プロモーション費用等の増加、また求人広告事業の構造改革に向けた支出等はありませんでしたが、それを上回る売上高の増加があったため、営業利益は108億円となりました。



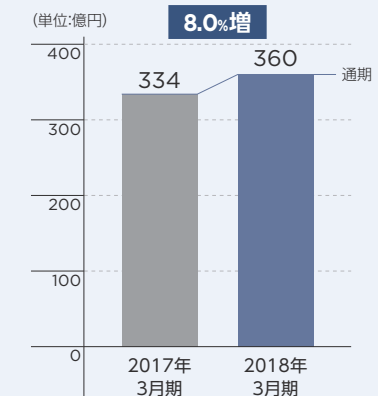
売上高

日本経済が回復基調となる中、前年度に引き続き人手不足を背景とした多くの需要が寄せられ、人材サービス市場は全体として拡大傾向で推移しました。良好な市場環境を背景に、当社グループにおいても主力事業である人材派遣については稼働者数が高水準で推移し、人材紹介については転職決定人数が大幅に増加しました。また、海外におけるM&Aを通じた事業拡大に取り組んだ結果、2018年3月期の売上高は、7,221億円(前年比22.0%増)となりました。



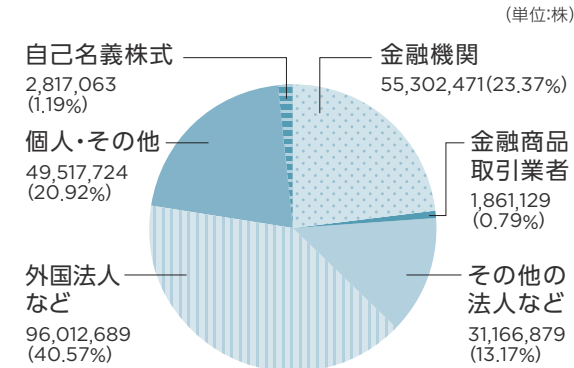
営業利益

各セグメントで人員増強や、グループブランド「PERSOL (パーソル)」の認知度拡大へ向けた投資等による費用増がありましたが、派遣・BPO、リクルーティングセグメントを中心に売上高が伸長した結果、2018年3月期の営業利益は、360億円(前年比8.0%増)となりました。



株式所有者別分布状況

(2018年3月31日現在)



※持株比率 (%) は小数点第3位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月下旬	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
	TEL	0120-232-711 (通話料無料)
	URL	https://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)	
公告方法	電子公告 公告掲載URL	https://www.persol-group.co.jp
	(ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。)	

株式の状況

(2018年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 …… 720,000,000株
- 発行済株式の総数 …… 236,677,955株
- 株主数 …… 8,961名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率 (%)
篠原 欣子	26,331,600	11.25
一般財団法人 篠原欣子記念財団	15,800,000	6.75
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	12,846,200	5.49
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	10,615,300	4.53
ケリーサービスジャパン 株式会社	9,106,800	3.89
篠原 よしみ	4,438,400	1.89
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,696,000	1.58
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	3,413,600	1.45
THE BANK OF NEW YORK 133524	3,390,900	1.44
JP MORGAN CHASE BANK 385632	3,378,825	1.44

※持株比率は、発行済株式総数から自己株式を除いた株数(233,860,892株)を基準に算出しております。
※持株比率 (%) は小数点第3位を切り捨てております。

会社概要

(2018年3月31日現在)

会社名 パーソルホールディングス株式会社
 PERSOL HOLDINGS CO., LTD.
 設立 2008年(平成20年)10月1日
 本社 東京都渋谷区代々木2-1-1
 事業内容 労働者派遣事業・有料職業紹介事業などの事業を行うグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務
 資本金 17,467百万円

役員一覧

(2018年6月26日現在)

名誉会長	篠原 欣子
代表取締役社長 CEO	水田 正道
取締役副社長 COO	高橋 広敏
取締役専務執行役員	和田 孝雄
取締役執行役員	小澤 稔弘
取締役執行役員	関 喜代司
社外取締役	玉越 良介
社外取締役	Peter W. Quigley
取締役	嶋崎 広司
社外取締役	進藤 直滋
社外取締役	西口 尚宏
社外取締役	榎本 知佐
執行役員	林 大介
執行役員	美濃 啓貴
執行役員	峯尾 太郎
執行役員	山崎 高之
執行役員	宮村 幹夫
執行役員	高倉 敏之
執行役員	正木 慎二
執行役員	木村 和成
執行役員	瀬野尾 裕

貸借対照表

(単位:億円)

	2017年 3月期末	2018年 3月期末	増減額
資産	2,683	4,034	1,351
① 流動資産	1,652	2,354	702
現金及び預金	694	896	201
固定資産	1,031	1,679	648
② 商標権・のれん	735	1,132	397
負債	1,145	2,434	1,289
③ 流動負債	879	2,171	1,291
1年内返済 予定の借入金	50	899	848
④ 固定負債	266	263	△2
長期借入金	204	157	△47
純資産	1,538	1,599	61
自己資本	1,391	1,455	64
資本金	174	174	0
資本剰余金	201	201	0
⑤ 利益剰余金	1,024	1,059	35
非支配株主持分	146	144	△2

POINT 1
現金及び預金の増加
受取手形及び
売掛金の増加

POINT 2
M&Aによる増加

POINT 3
短期借入金の増加
未払金・未払消費税
等の増加

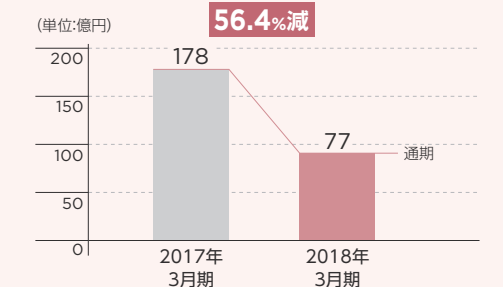
POINT 4
長期借入金の減少

POINT 5
利益増による増加

インターネットでも詳細なIR情報を公開しています。ぜひご覧ください。
 パーソルホールディングス ホームページ ▶ <https://www.persol-group.co.jp/>

親会社株主に帰属する当期純利益

アジア・パシフィック地域において「PERSOLKELLY」ブランドで事業展開を進める子会社の一部、また「an」のブランドで事業展開を進める求人広告事業において、当初想定した事業進捗が見込めないことからのれん等の減損損失を計上した結果、77億円(前年比%56.4減)となりました。



1株当たり配当金

順調な業績動向や財政状態等を総合的に勘案し、2018年3月期における期末配当金は、当初予定をしておりました1株当たり9円から1円増配の10円といたします。

	2017年3月期	2018年3月期
中間配当	8.00	9.00
期末配当	9.00	10.00